

株式会社アーバンエックステクノロジーズ  
AIによる路面性状簡易評価サービス「RoadManager路面評価」

【分野】 **道路** 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）  
【手法】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 **その他** AIシステムによるインフラ点検・管理（ ）

スマートフォンで撮影した動画やセンサー情報から**ひび割れ率・IRI・MCIを指標化**。低コストで簡易的な路面性状調査を実施。

①提案によって解決する地方公共団体が抱える課題イメージ

専用車での点検はコストが高く路面性状調査を実施できていない

調査できていなかった生活道路や狭小道路を調査したい

数年に1回度の調査では時間があき、劣化状況が指標化できない

一部路線の計画的な補修を検討しているが、予算計上のための根拠資料がない

②提案の概要

自治体（or委託先）

貸し出し端末を車両のフロントガラス上部に設置 RM路面評価アプリを立ち上げ、走行

当社

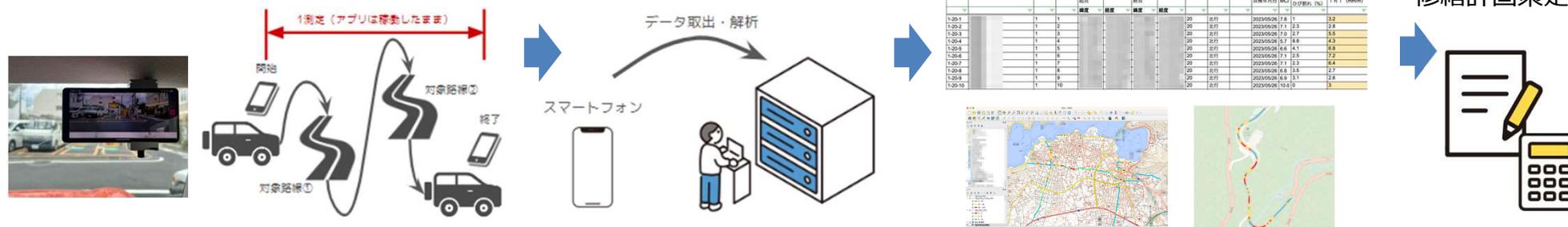
当社にてスマートフォンから各種データを取り出し解析

当社→自治体or建設コンサル等

ファイル共有サービスにてデータ納品

自治体（建設コンサル等）

修繕計画策定



- ✓圧倒的なコスト低減
- ✓当社独自技術によるひび割れ率の自動算出、及びMCI算出によるランク付け

- ✓多種多様な車両に対応し、車両改造なしに気軽に測定が可能
- ✓機材の準備不要・全てレンタル
- ✓計測したいときに、計測したい分だけのお支払い

③課題解決のイメージ・効果

- コストなどの観点から今まで路面性状調査を実施できなかった路線を低コストで手軽に調査可能
- 路面の劣化具合を指標化し、予算計上の根拠付けや、今後の管理に役立てることができる

その他

- ひび割れ率の算出には、当社が2022年に技術開発した新技術（特願2022-116149）を利用
- IRI解析には、バンプレコーダー株式会社の独自技術「スマホで路面性状計測（バンプレコーダー）（NETIS登録番号：KT-170105-VR）」を利用。国土交通省「点検支援技術性能カタログ概要（舗装）」（令和5年3月）掲載